

【まとめと今後の対応】

○点字図書館事業について

回答のあった方のうち、「利用しなかった」方が45%と半数近くおられました。その「利用しなかった」方の理由として、「利用方法が分からない」「どんなサービスがあるか分からない」と答えられた方が26%おられました。これについては、点字図書館の機能・サービスについて知っていただき、皆様にとって身近な施設となるよう努力してまいります。広報などを通して啓発が必要と考えております。また、利用しなかった方の理由で、「自身でサピエ図書館を利用している」という回答が27%ありました。デイジー図書の再生機を使用し、点字図書館に頼らずに読書を楽しむことができる視覚障がいの方が多くおられることがうかがえます。今後も、利用される方が望まれる形態で図書の提供ができるよう、点字・録音図書製作に尽力してまいります。

デイジー図書・デイジー雑誌の利用は全体の43%と高い数値ですが、点字図書・点字雑誌とテープ図書・テープ雑誌がそれぞれ17%と19%で、カセットテープのニーズもまだまだ高いことが、今回の調査でも伺えました。今後もカセットテープでの録音図書提供を継続してまいります。

○生活訓練事業について

生活訓練事業については、講座の実施内容について「不満足」と回答された方が17%、講座の定員数について「不満足」と回答された方が14%と比較的高い数値でした。また、講座の実施曜日に「不満足」と回答された方もおられ、平日以外の実施を希望されるご意見もいただきました。今後は講座の内容と共に、定員数・実施曜日に関しても様々なバリエーションのものを企画し、魅力ある講座の実施に努めます。

また、職員対応について「不満足」と回答された方が13%と比較的高い数値でした。ご意見を真摯に受け止め、全ての職員が参加される方の気持ちに寄り添った支援を行うことができるよう、職員の資質向上を図ってまいります。昨年度は地域に出向いての相談や自宅や病院での訪問支援に力を入れてまいりましたが、「自宅まで訪問してもらって色々な情報が得られ、知識が増えた」といった声が寄せられました。今年度も引き続き訪問支援やアウトリーチ支援に取り組むと共に、いろいろカルチャー講座においても利用される方々のご要望にお応えできるよう努力してまいります。

○字幕入りビデオライブラリー事業について

ビデオライブラリーについては、利用なしの回答が、56%でした。利用しなかった理由として、ビデオライブラリーの利用方法がわからないや、自分が見たいビデオやDVDがない、興味がないという回答がありました。ビデオライブラリーの利用方法がわかるようにチラシ作成や魅力を感じてもらえる工夫に努めます。また、要望があった番組については、年1回のリクエストに記入したり、DVDの選択する時は、ビデオライブラリー事業委託先である徳島県聴覚障害者福祉協会と協議して、皆様のご希望にお応えできるようなDVDの番組を揃えるように対応します。